

ラーケーションとは

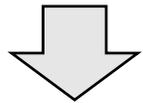
これからの社会では、自己の在り方や生き方を考えながら、課題を発見し解決していくことのできる力が求められます。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする体験的・探究的な活動を通して学んでいくことが有効です。また、自己の在り方や生き方を考えるためには、家の人とゆっくりと話をする時間も大切です。思いや悩み、不安について家族と一緒に考えることで、これまでの生活を振り返り、今後を見つめる良い機会になります。

児童生徒が家の人などと一緒に、そのような時間を取ることができるよう、小美玉市が設定したのが年間最大5日間の「ラーケーション」です。

ラーケーション届出の流れ

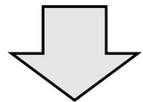
1 計 画

家族で相談して計画を立てる。
①日程 ②場所 ③内容 など



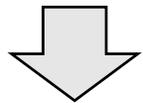
2 届 出

ラーケーション届出書（別紙1）を1週間前までに
学校に提出する。



3 活 動

体験活動などを行う。



4 振り返り

家の人と話し合い、体験活動などの振り返りを行
う。

ご注意いただきたいこと

- 受けられなかった授業内容に関するサポートについては、いばらきオンラインスタディ等を活用して各家庭で対応してください。
- 各学校がラーケーションを取得できない日又は期間を設定していますのでご確認ください。
（例）4月中（年度はじめ）、定期テスト期間、学校行事の日等
- ラーケーションは、連続して取得することも分散して取得することもできます。限度は年度内に5日であり、残った日を次の年度に繰り越すことはできません。
- 取得した日は欠席ではなく、「出席停止・忌引等」の扱いになります。
- ラーケーション中にケガなどをした場合、学校の管理下での活動ではないため、学校で加入している日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度の対象外となります。実施前に家庭で個別に保険に加入することをおすすめします。
- ラーケーションを利用した日の給食の扱いは、病気等の欠席者と同様の対応とし、給食費などの返金はありません。

活動例

平日ならではの！ 水族館や博物館に行こう

興味のある施設に行き、時間をかけてじっくりと見学や体験をしてみましょう。

平日は、様々な施設が休日に比べて混雑していません。



気分は研究者！ レポートを書いてみよう

興味のあることや疑問をもったことについて調べ、レポートを書いてみましょう。

書いたレポートをコンテストに応募してみるのもよいでしょう。



学校体験！ 普段の様子を見に行こう

普段の大学や専門学校の様子を見てみましょう。

大学図書館や、周辺の街の雰囲気味わうのもよいでしょう。



将来について！ お家の人に話してみよう

将来についての思いや悩みなどをじっくりとお家の人と話し合ってみましょう。

お家の人と休みを合わせてみるとよいでしょう。

